

R&AC、カシオ計算機グループへ導入の入金/回収管理特化型パッケージ “Victory-ONE+”機能強化版を正式リリース

入金/回収業務に特化した業務パッケージシステム“Victory-ONE+”が、このたび専用入金口座対応と回収遅延配信機能を大幅に強化したバージョンを、カシオ計算機株式会社へ納入、本稼働する。

カシオ計算機株式会社では、子会社のカシオ情報機器株式会社を含む2法人と、本社管理部にて、債権の回収業務合理化及び回収遅延防止のためのシステム強化を図っていた。

R&AC では、カシオ計算機と同様の入金回収業務にまつわる課題を解決したい企業向けに、今回のバージョンアップ版を“Victory-ONE+ Version. F.”として売り込んでいく計画で、平成 24 年 11 月初旬、同バージョンを正式リリースする。

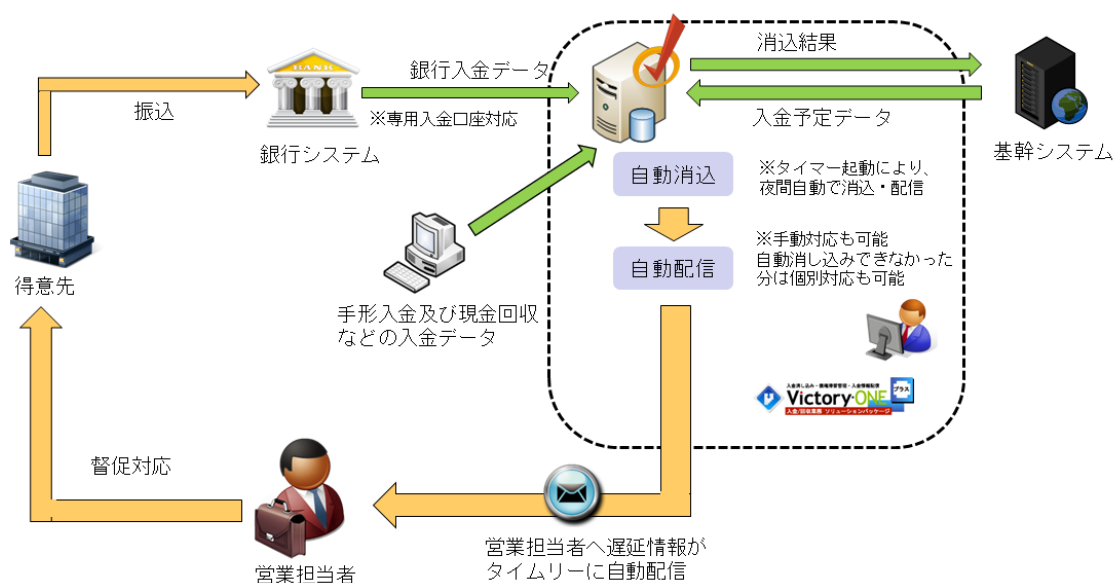
▼ Victory-ONE+の強化ポイントは以下。

1. 請求データと入金データの自動消し込みを、タイマー設定により無人（注1で自動的（注2）に実行することができるようになり、回収漏れがあった債権に対し、自動で営業担当者に注意喚起メールが配信される。
2. 日中任意のタイミングで、手動によるメール配信も可能となっており、特定の得意先の営業担当者だけをピックアップして注意喚起メールを配信することも可能となっている。
3. 得意先の支払元銀行情報（仕向銀行）をチェックすることが可能となり、仕向銀行が前回と異なる場合に、注意情報として自動ピックアップされる。

▼ 今回のシステム導入により、カシオ計算機では以下の効果を見込んでいる。

1. 回収情報を営業担当者がリアルタイムに把握できる環境を実現できることになり、回収漏れや回収遅延の発生する要注意得意先を素早く捕捉でき、与信管理が強化される。
2. 自動化により目視の入金確認作業がほぼなくなり、ミスの低減、業務効率の向上に大幅に寄与する。

【システムイメージ】



（注1：振込入金データは、各銀行が提供するファームバンキングソフトまたはインターネットバンキングシステムを利用し、全銀協フォーマット等の物理ファイルを手動もしくは自動で取得できる事が前提となります。詳細は各銀行窓口へお問い合わせください。

（注2：各銀行が提供する専用入金口座サービス（仮想入金口座サービスともいう）を採用していることが前提となります。詳細は各銀行窓口へお問い合わせください。